



# Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キット リリースノート

---

2004 年 12 月

バージョン 1.1

# 法的規制について

ボードに FCC 適合宣言のマークがついている場合は、次の説明が適用されます。

## FCC 適合性宣言

本デバイスは FCC 規則第 15 編に従うものです。動作にあたっては、以下に示す 2 つの条件を満たしていなければなりません。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こさないこと。(2) 本デバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉など、いかなる干渉を受けても対応できること。

本製品の EMC 性能に関するご質問は、弊社までお問い合わせください。

Intel Corporation  
5200 N.E. Elam Young Parkway  
Hillsboro, OR 97124  
1-800-628-8686

この機器は、FCC 規則第 15 編に規定しているクラス B のデジタル装置の規制に関するテストを行い、それに適合することが確認されています。この規制は、住居に設置した場合の、有害な干渉に対する十分な保護を規定したものです。この機器は、電波を発生、使用し、放射する機器であり、指示に従って設置および使用されていない場合、電波通信に有害な障害を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置において障害が起こらないことを保証するものではありません。この機器がラジオまたはテレビ受信の妨害をしている場合は、この機器の電源を切ることで確認できます。以下の方法のうち 1 つまたは複数を使って、障害が起こらなくなるように調整してください。

- 受信アンテナの向きを変えたり、位置を変えたりする。
- この機器と受信機との距離を離す。
- 受信機が接続されているのとは別回路のコンセントにこの機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

インテル社の明示的な許可を受けずにこの機器を変更または修正すると、ユーザは装置を操作する権限を失う場合があります。

## カナダ通信省の適合性宣言の表示

このデジタル機器は、カナダ通信省 (DOC) の無線干渉規制で定められている、デジタル機器からの無線雑音放射電磁波に関するクラス B の制限値を越えるものではありません。

## 免責条項

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。製品に付属の売買契約書『INTEL'S TERMS AND CONDITIONS OF SALES』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商品性に関する保証、第三者の特許権、著作権、その他、知的所有権を侵害していないことへの保証を含む) に関しても一切責任を負わないものとします。インテル製品は、医療、救命、延命措置などの目的への使用を前提としたものではありません。インテル製品は、予告なく仕様が変更される場合があります。

インテル® デスクトップ・ボードは、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。本資料に記載されているすべての製品、日付、数値は、現在の予想に基づくものであり、計画以外の目的ではご利用になれません。これらは予告なしに変更することがあります。他のチャネルでの購入方法は、条件によって異なります。

最新の仕様をご希望の場合および製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本資料またはインテルが提供するこれ以外の関連資料で参照されている文書のうち、注文番号が明記されているものについては、インテルのホームページ (<http://www.intel.co.jp/>) から、あるいはお電話 (1-800-548-4725) でコピーを入手できます。

インテル、Intel ロゴ、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

© 2004 - 2005, Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

# 目次

|          |                                                    |          |
|----------|----------------------------------------------------|----------|
| <b>1</b> | <b>はじめに.....</b>                                   | <b>5</b> |
| <b>2</b> | <b>Basic Office Automation アプリケーション・スタック .....</b> | <b>5</b> |
| <b>3</b> | <b>Basic Office Automation に関する問題点.....</b>        | <b>6</b> |
| 3.1      | サポートされている全 Linux ディストリビューション .....                 | 6        |
| 3.2      | Red Hat* バージョン 3 アップデート 3.....                     | 6        |
| 3.3      | Red Flag* Desktop バージョン 4.1.....                   | 7        |
| <b>4</b> | <b>デバイスドライバに関する問題点 .....</b>                       | <b>8</b> |
| 4.1      | インテル® 915 チップセットを搭載した インテル® デスクトップ・ボード .....       | 8        |
| 4.1.1    | グラフィックスに関する問題点.....                                | 8        |
| 4.1.2    | オーディオに関する問題点.....                                  | 8        |
| <b>5</b> | <b>プラットフォームに基づく問題点 .....</b>                       | <b>9</b> |
| 5.1      | インテル® 865 チップセットを搭載した インテル® デスクトップ・ボード .....       | 9        |
| 5.1.1    | オーディオに関する問題点.....                                  | 9        |
| 5.1.2    | グラフィックスに関する問題点.....                                | 9        |
| 5.1.3    | 全般的な問題点.....                                       | 9        |
| 5.2      | インテル® 915 チップセットを搭載した インテル® デスクトップ・ボード .....       | 10       |
| 5.2.1    | オーディオに関する問題点.....                                  | 10       |
| 5.2.2    | グラフィックスに関する問題点.....                                | 11       |

## 改訂履歴

| 版数   | 改訂履歴                                              | 改訂日         |
|------|---------------------------------------------------|-------------|
| -001 | 『Linux* 版 インテル® クイック・スタート・キット - クイック・リファレンス』の初版作成 | 2004 年 11 月 |
| -002 | ボードサポートを追加                                        | 2004 年 12 月 |



# 1 はじめに

---

本書では、Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キットで判明している問題点について説明します。

## 2 Basic Office Automation アプリケーション・スタック

---

Basic Office Automation アプリケーション・スタックは、以下のアプリケーションから構成されています。これらのアプリケーションについて、Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットでサポートされている Linux ディストリビューションを使ってテストしました。

| アプリケーション・<br>タイプ      | Novell* Linux* Desktop<br>バージョン 9 | Red Flag* Desktop<br>バージョン 4.1                   | Red Hat* Desktop<br>バージョン 3 アップデート 3 |
|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------|
| OpenOffice            | OpenOffice* v1.1.3                | OpenOffice v1.1.1                                | OpenOffice v1.1.0                    |
| Web ブラウザ              | Evolution* 1.4                    | Kontakt 1.0                                      | Evolution v1.4                       |
| 電子メール                 | Mozilla* Firefox* v0.9.1          | Mozilla 1.7                                      | Mozilla v1.4.3                       |
| デスクトップ                | Gnome* v2.6                       | KDE* 3.2.1                                       | Gnome 2.2                            |
| インスタント・<br>メッセージング    | GAIM*                             | Kopete* v0.8.1                                   | GAIM                                 |
| Acrobat (PDF)         | Adobe Reader* 5.0                 | xPDF 3.00 (中国語をサポートするために Red Flag* に<br>よって機能拡張) | xPDF* および Adobe<br>Reader 6.0        |
| Macromedia Flash      | Macromedia* Flash v7.0            | Macromedia Flash v7.0                            | Macromedia Flash v7.0                |
| ストリーミング・<br>オーディオ・ビデオ | Real Player* v10                  | Real Player v10                                  | Real Player v10                      |
| アンチウィルス・<br>ソフトウェア    | Grisoft* AVG for Linux            | Grisoft AVG for Linux                            | Grisoft AVG for Linux                |

## 3 Basic Office Automation に関する問題点

### 3.1 サポートされている全 Linux ディストリビューション

1. **OpenOffice と Microsoft\* Office Professional Edition 2003 の互換性:** OpenOffice\*. では、上位互換性が保たれています。Microsoft\* Office で作成したファイルを、OpenOffice の対応するアプリケーションで開くと、編集できます。フォント (すべてのフォントが Writer\* で使用できるとは限らない) およびプレゼンテーションにおけるビルドホイル (Microsoft PowerPoint\* ビルドが Impress\* でうまく機能しない) に関して、いくつかの問題が検出されました。
  - **Grisoft AVG\* for Linux のインストール:**  
<http://www.intel.com/design/motherbd/software.htm> (英語) から AVG をダウンロードすると、Mozilla\* はこの RPM ファイル (拡張子 .rpm) をリアル・オーディオ/ビデオ・ファイルであるとみなし、これによって問題が発生します。この問題を回避するには、Konqueror\* (デフォルトの Red Hat\* インストールによってすでに提供済み) などの異なる Web ブラウザを使用して、この RPM ファイルをダウンロードします。

### 3.2 Red Hat\* バージョン 3 アップデート 3

- **すべてのアプリケーションがデフォルトのインストールに含まれているわけではない:**  
 Red Hat のデフォルトのインストールには、Macromedia Flash\*、Adobe Reader\*、Real Player\*、GAIM\* インスタント・メッセンジャーは含まれていません。このようなアプリケーションは、オペレーティング・システムのインストール・プロセスで適切なオプションを選択してインストールするか、またはベンダの Web サイトから個々にダウンロードし、インストールする必要があります。これらのアプリケーションのダウンロードとインストールについては、以下のリンクを参照してください。
  - GAIM - <http://gaim.sourceforge.net/downloads.php>
  - Adobe - <http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>
  - Macromedia - <http://www.macromedia.com>
  - Real Player - <http://www.real.com/player/?src=realplayer>
- **GAIM のインストールが Red Hat で機能しない:** デフォルトでは、GAIM は使用できません。今回のテストでは、GAIM を <http://gaim.sourceforge.net/downloads.php> からダウンロードし、インストールしたところ、インストール時に以下のエラーが発生しました。

```
[root@localhost root]# rpm -i gaim-1.0.2-0rh9.i386.rpm
warning: gaim-1.0.2-0rh9.i386.rpm: V3 DSA signature: NOKEY, key ID 83c1c14
error: Failed dependencies:
        libgtkspell.so.0 is needed by gaim-1.0.2-0rh9
```



### 3.3 Red Flag\* Desktop バージョン 4.1

- **アプリケーションが簡体文字でローカライズされている:** Red Flag 対応のアプリケーションはすべて (AVG を除く) 簡体文字になっています。Red Flag がこのローカライゼーションを行っています。
- **OpenOffice アプリケーションがインストールされない:** Red Flag のデフォルトのインストールでは、OpenOffice アプリケーションはインストールされません。これらのアプリケーションは、Red Flag\* Desktop 4.1 ディストリビューションのインストール CD #3 (tools) に収録されています。

## 4 デバイスドライバに関する問題点

---

### 4.1 インテル® 915 チップセットを搭載した インテル® デスクトップ・ボード

#### 4.1.1 グラフィックスに関する問題点

##### 4.1.1.1 Red Flag\* Desktop 4.1

- **ダイレクト・レンダリングがアクティブの場合にビデオゲームに関して判明している問題点:** Quake\* 3 を実行した場合、一部のブロックが正しく表示されません。Tuxracer を実行した場合は、画面の上半分が正しく表示されません。Kaffeine を使用して WMF ファイルを再生した際には、画面の右半分が不鮮明になることがあります。

#### 4.1.2 オーディオに関する問題点

##### 4.1.2.1 Red Flag\* Desktop 4.1

- **SMP と UP の両方について、ドライバを 1 つのパーティションで同時に使用できない:** UP にオーディオ・ドライバをインストールし、UP で再起動すると、ドライバは有効になります。この場合、SMP で再起動すると、ドライバは有効になりません。逆に、SMP にオーディオをインストールし、SMP で再起動した場合、ドライバは有効になります。UP で再起動すると、ドライバは有効になりません。ドライバを有効にするには、UP に再度インストールしなければなりません。
- **マイクロフォン・レコーダが正しくない:** オーディオ・ドライバをインストールした場合、kmix に入力の音量調整機能がありません。



## 5 プラットフォームに基づく問題点

---

### 5.1 インテル® 865 チップセットを搭載した インテル® デスクトップ・ボード

#### 5.1.1 オーディオに関する問題点

##### 5.1.1.1 すべての Linux ディストリビューション

- オーディオ・ジャックを3つ装備したインテル® デスクトップ・ボードで、6チャンネル・オーディオが機能していないように見える: デフォルトで有効なのは、2チャンネル・オーディオだけです。この問題の回避策はありません。フィックスについては、現在調査中です。

#### 5.1.2 グラフィックスに関する問題点

##### 5.1.2.1 すべての Linux ディストリビューション

- 画面のフォントに関する問題: ランレベル3 では、XFree86 が8ビット・カラー・モードに設定されている場合、X-Windows を終了してコンソール・モードに戻ると、画面のフォントが濃くなり、判別しにくくなります。

##### 5.1.2.2 Novell\* Linux Desktop 9

- Accelerated Graphics が有効でない: インテル® 865 チップセットを搭載したインテル® デスクトップ・ボードについては、この Linux ディストリビューションでの Accelerated Graphics は現在サポートされていません。フィックスについては、現在調査中です。

#### 5.1.3 全般的な問題点

##### 5.1.3.1 Red Flag\* Desktop 4.1

- X-windows がクラッシュする: XF86Config-4 でバーチャル・スクリーンを使用している場合、X でビデオを再生し、ビデオ・ウィンドウをバーチャル・スクリーンの端に移動させると、X-windows がクラッシュします。
- USB-CDR/W ROM デバイスが正しくマウントしない: USB テストにおいて、IDE CD/DVD-ROM デバイスにディスクをセットし、このデバイスをマウントした場合、USB-CDR/W-ROM ではこの媒体を正しくマウントできません。システムを再起動した後、デバイスを再度マウントしなければなりません。

## 5.2 インテル® 915 チップセットを搭載した インテル® デスクトップ・ボード

### 5.2.1 オーディオに関する問題点

#### 5.2.1.1 すべての Linux ディストリビューション

- **"alsamixer" ユーティリティを使用して変更を行ったときに、一部の変更内容が GUI に反映されない:** この状況は "alsamixer" ユーティリティの制約です。"alsamixer" ユーティリティを一度閉じた後、再度開くと、GUI がリフレッシュされ、変更した内容が正しく表示されます。
- **アプリケーションの音量調整が効かない:** アプリケーションの音量調整はミキサーの設定とリンクしていません。ミキサーを使用して、音量を調節します。
- **オーディオ・ジャックを3つ装備したインテル® デスクトップ・ボードで、6 チャンネル・オーディオが機能していないように見える:** デフォルトで有効なのは、2 チャンネル・オーディオだけです。この問題の回避策はありません。フィックスについては、現在調査中です。
- **オーディオ・ジャックを5つ装備したインテデスクトップ・ボードで、"digital out" が機能していないように見える:** デフォルトでは、"digital out" 機能は無効です。この問題の回避策はありません。フィックスについては、現在調査中です。
- **オーディオ・ジャックを5つ搭載したインテル® デスクトップ・ボードで、"digital out" が2チャンネル・オーディオだけしかサポートしていないように見える:** AC3 はサポートされていません。この問題の回避策はありません。
- **音声 CD をセットしても音声再生されない:** インテル® 915 チップセットを搭載したインテル® デスクトップ・ボードでは、アナログ CD 再生はサポートされていません。この問題を回避するには、XMMS を使用して、Digital Extraction を使うように CD 再生オプションを変更します。この問題のパーマネント・フィックスについては、現在調査中です。
- **Digital Extraction で CD の音声再生したときの音質が悪い:** この問題の回避策はありません。フィックスについては、現在調査中です。
- **マイクから音声を録音できない:** インテル® 915 チップセットを搭載したインテル® デスクトップ・ボードでは、マイクからの録音機能はサポートされていません。この問題の回避策はありません。フィックスについては、現在調査中です。

#### 5.2.1.2 Novell® Linux Desktop 9

- **オーディオ・ドライバをインストールしても、音声再生されない:** 音量がゼロに設定されています。ミキサー制御アプリケーションを開き、音量を上げます。



## 5.2.2 グラフィックスに関する問題点

### 5.2.2.1 すべての Linux ディストリビューション

- **Automated Installer のアンインストール機能が効かない:** "vesa" ドライバを使用し、"gdg.o" ファイルをシステムから削除するように、手動でシステムを構成します。この問題のパーマネント・フィックスについては、現在調査中です。
- **8 ビット (256 階調) 以下の色分解能を使用した場合、インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレータのドライバがロードされない:** 色分解能を 16 ビット以上に変更します。この問題のパーマネント・フィックスについては、現在調査中です。

